

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第 110 号

<https://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 令和 6 年 9 月 25 日

諸行無常石室山や秋の暮

英州

盆の 8 月 13 日と 16 日、松禪寺境内の灯籠や供養塔のほか、松禪寺霊園でローソクを灯しています。雨降りでは灯せない年もありましたが、今年は何とか点灯することができました。暦の上では秋、爽やかな風がそよぐなかと言いたいところですが、蒸し暑いお盆でした。

亡くなった親や先祖を思う心を大切にするお盆です。皆さまのお家でもさまざまなお盆を過ごされたかと思ひ



ます。家族そろってお墓に参り、久しぶりに賑やかな食卓を囲んで、いろいろな話に花が咲いたことでしょう。生前の感謝や安らかな成仏を祈る、その気持ちを大切にしたいものです。

送り火

坂村真民

お父さん

お母さん

ことしのお盆は

よいお盆でした

お墓まいりはできませんでしたが

普通寺高野山とおまいりして

御冥福を祈ってきました

子供たちも大きくなりました

梨恵子も来年はどこかの大学に入り

大学生となりましょう

一年一年と大きくなってゆくのを楽しみに

来年も飛んでお出てください

茜ちゃんも

父さん母さんのあけくれをよく見て

わたしたちを守ってください

これといって特別の御馳走も

できませんでしたが

心から送り火を

みんなでたきます

では来年まで

さようなら

さようなら

初盆と先祖、有縁無縁の霊を供養 令和6年度施餓鬼会を厳修



今年もより厳しい猛暑が連日続いた夏のなか施餓鬼会を8月7日(水曜日)午前10時より執り行いました。法要には瑞泉寺住職、副住職様(和田山町)、楊岐院様(豊岡市)、東源寺様(夜久野町)、清太院様(夜久野町)の和尚様方5人、住職と兄(徒弟)が出頭して厳修いたしました。今年は5霊位の初盆施餓鬼のほか、檀信徒各家の先祖供養、栗尾養鶏組合の鶏魂供養を例年どおり行いました。扇風機しかない本堂で皆さん汗びっしょりだったと思いますが、熱中症予防にと参拝者全員にペットボトル茶を差し上げました。これまでのコロナ禍や大荒れの天候など法要の妨げはいろいろありましたが、初盆の霊位とともに各家のご先祖様、有縁無縁の霊を

も供養するのが施餓鬼会です。初盆ではないから関係ないと思うのではなく、大事な先祖供養の法要ですので、ぜひ来年はどなた様もお参りください。

酷暑のなか第2回境内掃除を実施

お盆も間近に迫った7月28日(日)、今年2回目となる境内掃除を行いました。猛暑日の中、午前8時から10時までの2時間、草刈りなどの作業に精を出して頂きました。また、本堂ガラス戸の掃除も行っていただきました。



▲連日の猛暑日でしたので、木陰で水分補給中



▲駐車場の枯れた桜の枝も伐採していただきました

した。

今回協力してくださったのは、総代(責任役員)さん6人をはじめ、清滝、本城、柴地、大貝、佐田、石原、久畑の各評議員さん7名と有志2名、総勢15名の皆さんでした。お陰様で8月7日の施餓鬼会には、参拝者皆さんを気持ち良くお迎えすることができました。有り難うございました。

境内掃除を終えてからは、総代会の開催。続いて、総代さん方で施餓鬼会の準備として、本堂中央に卓を設置し、外には施餓鬼棚を組み立てていただきました。

秋彼岸法要を厳修、実りある人生と先祖に感謝



願いました。

午前11時、総代さんの撞く大鐘の合図で法要が始まります。参拝者全員で読経、焼香をして先祖様に感謝の意を伝えました。

読経後は、今年米寿を迎えられた方のお名前を伝え、参拝者全員で祝いました。

齋座は当番さんが調理していたいただいたお弁当を、参拝者全員でいただきます。これは、本堂や薬師堂にお供えた霊供膳と同じ内容です。供養とは「食べ

彼岸中日を

迎えた9月22日、松禪寺では秋彼岸法要を執り行いました。いつものとおり、朝8時半から当番さんたちには齋座のお弁当づくりをお

る」ことでもあるのです。

食事もいただいて満足した後は、DVDビデオの上映です。今回は、妙心寺派管長・山川宗玄老大師の『花が咲く』を鑑賞しました。大学在学中に北海道で酪農に携わり、その後、臨済宗の厳しい修行を経てこられました。若き日の貴重なエピソードから、老師として、管長としての思いを穏やかにお話されています。私たちは何を大切にして生きていけばよいのかを、老大師の生い立ちや修行で得た人生訓をわかりやすく話されていました。祖先が残したさまざまな命と暮らしに感謝した、お彼岸でした。



▲「食事五観の偈」を唱えていただきます



▲当番さん手作りのお弁当。岡畑さんちのおはぎも。

「長寿おめでとう」ございます
米寿のお祝いを伝達しました

妙心寺派花園会本部への申請により、米寿を迎えられる1名の皆さんに、妙心寺派管長・山川宗玄老大師より寿詞と輪袈裟をいただきました。併せて松禪寺花園会から、寿詞を入れる額縁をそれぞれ贈呈させていただきました。誠にありがとうございます。

お家に長寿の方々が居られるのは家庭和樂のもとであり、一家繁栄の瑞兆とお祝い申し上げます。ますますのご長寿を保たれるようお願いいたします。

◎米寿

栗尾 藤田すみえ様(昭和12年生まれ)

※お願い

お寺では檀信徒皆さま全員の生年月日を把握していません。今年米寿88歳を迎えられる同居家族が居られまして、ぜひ住職までお知らせ下さい。数え年でお祝いをしています。年齢が過ぎていても構いませんので、ぜひご一報ください。お祝いの品を妙心寺派花園会本部へ申請いたします。



来る11月3日、松禪寺では達磨忌と開山忌を営みます。

達磨大師は、禪宗の開祖です。南インドの小国の王子として生まれ、後に出家して菩提達磨と名を改めます。禪を伝えるために中国に渡り、洛陽の少林寺で面壁して坐禅すること9年に及んだと言われています。次に、松禪寺は来翁祖諱和尚大禪師を開基として、禪師の師である一笑禪慶和尚大禪師を勧請開山としています。10月20日を忌日としております。

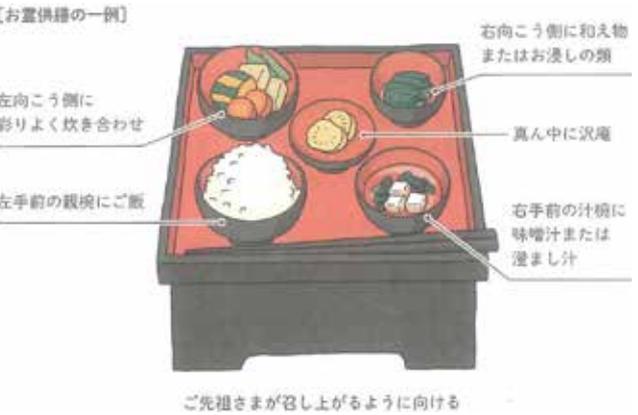


おこなと 執り行います 達磨忌と開山忌

開始 午前11時より法要
正午より齋座
場所 松禪寺本堂

この達磨忌と開山忌を次のとおり執り行いますので、ぜひお参りください。
とき 11月3日(日/文化の日)
午前8時30分より当番の調理

お霊供膳の一例 「五色五味五法」を参考に
五色とは、白、黒、黄、赤、青。五味とは、甘い、塩辛い、酸っぱい、苦い、辛い。五法とは、焼く、煮る、揚げる、蒸す、漬ける。



ご先祖さまが召し上がるように向ける
妙心寺派宗務本所発行『臨濟宗の仏事』より

護持会

会費(後期分)の納入にご協力願います

9月は松禪寺護持会費の通常会費(後期分)をお願いする月です。松禪寺花園会は檀信徒の皆様方の、護持と発展を願う護持会費で運営しています。各評議員さんより納入の依頼がありますので、何卒ご協力の程よろしくお願います。遠方の皆様には郵便局の払込取扱票をお送りいたします。
なお、賛助会員の方々へは本年2月に納入依頼済みですので、後期分の請求はございませんが、未納の方は納入の程よろしくお願いたします。

俳句

足なえて遙かに眺む紅葉山
車椅子の父の手に取る榎櫃の実
秋うらら眠る嬰兒の見る夢は

句集『五月晴』著者・水繩松生

虫の夜をしみじみ夜坐のうれしかり
山は山野は野の匂い秋に入る
淡き日のせまりて暮るる稲架かな

先住・高橋英州

踊り場でひとり眺むる秋火花
落ち葉掃く吾の肩口にまた一枚

太田弘美 つくば市

短歌

亡き父の映りし動画観ることもなく
消すこともせずそのままに
帰省中何度も開くアルバムに
若き父母アオハルの兄たち
大病をすることもなくこの日まで
亡き父母に感謝の誕生日

太田弘美 つくば市

川柳

スイスイと悩みはないのトンボさん

中島英三 三木市

